

令和7年度 西濃向生園 地域連携推進会議 議事録

日 時 令和7年10月16日 木曜日 13時～14時30分 進行 川島
書記 加藤

地域連携推進会議

- ・近藤満喜子(西濃向生園園長) ・神野 博(西濃向生園事務長)
- ・川島 豪(西濃向生園サービス管理責任者) ・加藤よしみ(西濃向生園副主任)
- ・牧村 光子(西濃向生園利用者保護者) ・河瀬 正保(地域にお住まいの方)

議事

1 園長あいさつ

・今回は、連携推進会議に参加していただきありがとうございます。皆様には向生園運営に長い間ご理解、ご協力をいただきありがとうございます。地域連携推進会議は、普段お世話になっている方々に施設の活動内容を我々施設側が報告し、みなさまに施設の中を見てもらうことで、地域の方、関係者に施設への理解を深め、今後連携ができるような関係作りが出来る会にしていければと思っています。今後とも、ご理解、ご協力ほどよろしく願います。

2 委員紹介

- ・園長より、委員の紹介を行う。

3 事業所活動報告

(1) 令和7年度 西濃向生園事業計画

- ・園長より事業計画の説明を行う。

(2) 令和7年度行事報告

- ・サビ管より、令和7年度の 西濃向生園の園内、園外の行事の説明を行う(別紙参照)。コロナの為、外出を中止(特に外出行事)していたが、今年度より少しずつ行事を再開させている。行事を再開するにあたり課題(利用者の高齢化など)もあるが、いろいろ工夫しコロナ前の行事に戻せるよう検討していきたい。

(3) 日課活動報告

- ・サビ管より、活動内容に説明を行う(別紙参照)。ここ数年、利用者の高齢化があり、いままで行って作業の継続が難しくなっている。現状は、内容を変更し、余暇、リハビリ

を目的した物を提供している。今までの作業も、出来る限り残せるよう、内容、やり方を検討し、継続できるようにしていきたい。

(4) 施設内研修

- ・サビ管より、支援員の研修内容について説明を行う(別紙参照)。施設内の研修だけでなく、外部の研修も参加してもらい、支援員個々のスキルアップを行いる。現在利用者も障害の内容も多様化しており、研修を通しその多様化に対応ができる力をつけていきたいと思っている。

(5) その他、今年度の予定

- ・サビ管より、11月22日土曜日に実施予定の地域交流会について説明がある。

4 質疑応答

意見

- ・保護者より、「帰省した際に行事を話すことがあり、とても楽しそうに話す。なので、できるだけ再開させもらいたい。特に外出行事を増やしいってほしい。」との意見が出る。

返答

- ・サビ管より「できるだけ、いろいろハードルはありますが、いろいろ工夫し再開できる検討していきます。」と答える。

意見

- ・保護者より「園で買った作業製品の評判がよく、私もつかっているがとても丈夫で長持ちしている。今後も継続し制作して欲しい」との意見が出る。

返答

- ・サビ管より「高齢化でなかなか制作するのに難しい物もあるが、製品は、歴代の利用者、職員が考え作ってきた向生園の財産なので、できるだけ残せるよう、やり方を考え制作できるようにしていきたいと思う」と答える。

意見

- ・保護者より「利用者の年齢差があり難しい部分があるとは思いますが、ある保護者から居室で過ごす時間が長いので、体を動かす機会を作って欲しい」と意見が出ました。

返答

- ・サビ管より「月、水、金曜日の午前中に日中活動として、はなみずき棟とウッディールームに分かれて、風船バレーと玉入れなどのリクレーションを行い体を動かす機会を作っていきます。また貼り絵などの壁画作りとして、ウッディールーム班では折り紙ちぎり、はなみずき棟では折り紙ちぎりと貼り絵に現在も取り組んでもらっています。今

後もできるだけ日中の活動をコロナ前の状態に戻していけるよう支援員間で工夫して行っていこうと思っています。」と答える。

- 5 施設内・行事の見学を行う。
 - ・棟内と、10月の誕生会の様子を見学する。